

「スカルコラーゲン(フィッシュコラーゲン)の商品化」

株式会社 エコテック
理学部 基礎理学科教授 浜田博喜

Keyword：機能性食品、化粧品

「開発目的」

長寿大国であると同時に生活習慣病などの現代病も増加の一途をたどっている現在。人々の「健康」に対する関心が高まっている。その素材としての「コラーゲン」は従来の牛・豚由来のものから、魚由来のものへとシフトしつつある。

牛・豚由来のものよりも魚由来のものが優れているといわれているが、なぜ優れているといわれているのか、その中でも我々はウロコ由来のものを取り上げ、従来品との優位性を比較、研究している。物理的な組成の違いもさることながら臨床的にどのような優位性があるのか。これは提携病院で臨床試験や、培養細胞での各種試験を行っている。

また、ビジネスとして捉えたときに特に昨今問題とされている「安全性やトレーサビリティ」についても考案しているものである。そして、この開発は、新素材開発のほかに環境問題の解決という側面も兼ね備えているものである。廃棄処理困難物とされているものを有用資源として利用しかつ、クローズドプラントにおけるゼロエミッション生産が可能になるものである。

「スカルコラーゲンシリーズ」(健康飲料)

お肌だけでなく、骨、関節、腱、髪など体中至る所に存在するコラーゲンは女性だけのものではないことから「健康飲料」として関心が高まっている商品となっている。

「ai 誕生美シリーズ」(化粧品)

女性がいくつになっても追求する「肌の美」その願いを叶えるべく誕生したコラーゲン化粧品。あくまでも天然素材にこだわり無香料、8つの無添加を実現。これも自然派化粧品のニーズの増加に対し対応できるものとなっている。

「海洋深層水」との組合せ

このことも商品開発の上で重要な要素である。健康飲料・化粧品を製造する上で重要な水をミネラル豊富な水「海洋深層水」にすることで、他社との差別化を十分にアピールできるものとなっている。